

台風 に備えて

「台風シーズン」到来です。台風は、地震や集中豪雨と違って、ある程度襲来時期や大きさを予測することができます。日ごろから気象情報に注意して、万全の対策を心掛けてください。

台風シーズンに備えて

台風には十分注意！

台風の死傷者の多くは強風によるものです。台風が接近中に屋根の上について飛ばされて転落したり、家や船、田等の見回りなど屋外での作業中に起こっています。また、大雨により河川等が増水する恐れがありますので、近づかないようにしましょう。

早めに台風に対する備えを完了し、強風時にはなるべく屋外へ出ないようにしましょう。

台風が近づいたら

台風が近づいたら、ラジオ・テレビ等の台風情報や気象情報に注意し、余裕を持って行動ができるよう万全の対策をとりましょう。

停電に備えて

停電になっても慌てないよう、事前に懐中電灯や携帯ラジオを決まった場所に置いておきましょう。

強風によって電柱が倒れたりすると、長時間に渡り停電する

避難の準備

- ・避難場所を確認し、家族みんなで避難経路の話し合いをしておく（長門市広報6/1号8・9ページ参照）
- ・避難に備えて、乳幼児や病人、高齢者の支度を準備しておく
- ・台風が通過した後も地盤がゆるんで山や家が崩れるおそれがあります。家のまわりに危険はないか点検しておく

台風通過後の確認

- ・防災資材などの備蓄
- ・災害時
- ・情報の伝達および収集
- ・出火防止、初期消火
- ・避難
- ・救出、救護
- ・給食、給水
- ・問い合わせ



山口県土木防災情報システムを活用しよう

市内6河川（木屋川、泉川、掛淵川、大坊川、深川川、三隅川）の水位や雨量等の情報は、山口県土木防災情報システムで見ることが出来ます。

山口県土木防災情報システム
http://y-bousai.pref.yamaguchi.jp

水位情報

河川の水位情報は、平成17年7月1日より特別警戒水位が新たに定められました。（山口県土木防災情報システムは更新の関係で現在標記していません）

■通報水位（指定水位）
洪水のおそれがある水位（河川の監視など消防団が出勤の準備にあたるための指標となる水位）

警戒水位

洪水により災害の発生を警戒すべき水位（消防団が要員の警戒配置等、出勤にあたるための指標となる水位）

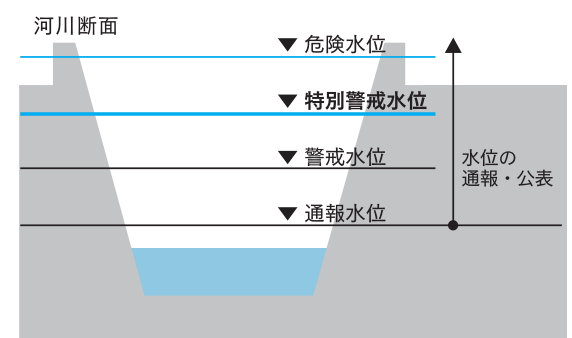
特別警戒水位

洪水により災害の発生を特に警戒すべき水位（住民が避難する際に目安の一つとなる水位で警戒水位を超え危険水位から避難等を考慮した水位）

危険水位

洪水により相当の被害が生じるおそれのある水位（堤防の

河川の水位情報



自主防災組織で たちむかおう

台風や地震、大雨、がけ崩れ、地すべりなどの災害はいつ起きるか分かりません。災害が起きたときは、市や関係機関が総力をあげて防災活動を行います。が、市民のみなさんの自主的な

台風ミニ知識

台風は積乱雲が集まったもので、暴風とともに大雨が降ります。その台風の「大きさ」は風速15m/s以上の強風域の半径で、「強さ」は中心付近の最大風速で決定します。台風情報の中では「大型で強い台風」などと表現します。

- 大きさ
- ・表現なし 500 km
 - ・大型 500 km以上 800 km未満
 - ・超大型 800 km以上
- 強さ
- ・表現なし
 - ・強い 17 m/s以上 33 m/s未満
 - ・非常に強い 33 m/s以上 44 m/s未満
 - ・猛烈な 44 m/s以上 54 m/s未満

■ 雨の強さと予想される被害の関係

1時間雨量	予報用語	イメージ	被害発生状況
10mm以上20mm未満	やや強い雨	ザーザーと降る	この程度の雨でも長く続く場合は注意が必要
20mm以上30mm未満	強い雨	どしゃ降り	側溝や下水、小さな川があふれ、小規模のがけ崩れが始まる
30mm以上50mm未満	激しい雨	バケツをひっくり返したように降る	山崩れ・がけ崩れが起きやすくなり危険地帯では避難の準備が必要
50mm以上80mm未満	非常に強い雨	滝のように降る	マンホールから水が噴出する土石流が起こりやすい
80mm以上	猛烈な雨	息苦しくなるような圧迫感がある	雨による大規模な災害の発生する恐れが強く厳重な警戒が必要

■ 風速と予想される被害の関係

平均風速	予報用語	イメージ	被害発生状況
10m/s以上15m/s未満	やや強い風	歩きにくくなる	取り付けの不完全な看板やトタンが飛び始める
15m/s以上20m/s未満	強い風	風に向かって歩けない	ビニールハウスが壊れ始める小枝が折れる
20m/s以上25m/s未満	非常に強い風 (暴風)	しっかり体を確保しないと転倒する	銅製シャッターが壊れ始める飛ばされた物で窓ガラスが割れる
25m/s以上30m/s未満			ブロック塀が壊れる樹木が根こそぎ倒れ始める
30m/s以上	猛烈な風	立ってられない	屋根が飛ばされる木造住宅の全壊が始まる

※ 地形や場所によって被害状況は異なる場合があります